

漁業の概要

富津市～館山市にかけての内房の小型漁船漁業では、起伏に富んだ東京湾口の布良瀬漁場や伊豆諸島周辺海域(島回り)で、キンメダイなど深場の魚類を狙った立縄漁業、磯根での刺網漁業や沿岸域での釣り漁業が営まれています。また、夏季にはアワビなどを対象とした海士漁業などが行われています。

ほとんどの漁業は日帰りですが、島回りのキンメダイ立縄漁業では、漁場まで片道8時間程度かかるため、2晩の操業が基本となります。

これら漁業は水産資源の持続的な利用のために様々な資源管理の取組を行っており、例えばキンメダイ漁業者は、漁業調整や資源の保護のため、布良瀬漁場協議会を立ち上げ、漁獲サイズや針数などの制限や標識放流、小型魚の保護などの資源管理の取組を実施しています。

対象魚種	①立縄:キンメダイ、ムツ、メダイ ②刺網:タチウオ、カマス、スズキ、マダイ等 ③釣り:ブリ類、スズキ、カツオ、タチウオ等
漁船の規模	3～8トン
乗組員数	1～2人(キンメダイ立縄は3人の場合もある)
年間労働日数	①キンメダイ立縄:海上90～120日 ②その他:海上140～200日
技術習得期間	3年程度



キンメダイの水揚げ

漁業収入モデル(独立時)

水揚収入	1,200万円
経費	400万円
漁業所得	800万円

立縄漁業(2人乗り)の場合

※上記は漁業者からの聞き取りを基にした一例であり、年、資源状況、習熟度等によって大きく変動します。

各漁業の年間操業計画

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
立縄	← 12ヶ月間継続操業 →											
刺網	← 2ヶ月間継続操業 →		← タチウオ (3月～7月) →				← カマス (8月～9月) →		← マダイ等 (10月～12月) →			
曳縄	← 2ヶ月間継続操業 →		← ブリ類 (3月～7月) →				← イセエビ (6月～10月) →					
海士	← 4ヶ月間継続操業 →				← サザエ (5月～7月) →		← アワビ類 (6月～8月) →		← 12ヶ月間継続操業 →			

1日の操業スケジュール例(刺網、釣り)

3:00	集合・出漁準備
4:00	出港
5:00～9:00	操業
9:00～10:00	帰港・水揚げ作業
10:00～12:00	片付け・メンテナンス・解散

就業と漁労作業

就業については、既存の漁業者に乗組員として雇用されることとなります。

漁労作業としては、いずれの漁業も船長が操船を行い、乗組員は漁具の設置、漁獲物の取り外し、選別等を中心に行うこととなります。